

H29年 6月9日 第1地区座談会(要旨) 参加者13名

番号	担当課	意見・質問・要望等	町の考え方	その後の状況
1	町民保健課長	■検診事業について、対象者には受診券を郵送しますとありますが、手順はどうなっていますか。	■はがきに全ての検診内容が記載してあり、それとは別に対象者には受診券をお送りしています。	
2	町民保健課長	■胃がんリスク検査の件ですが、ピロリ菌除菌をしたことがある人は対象外ですか。	■今回の胃がんリスク検査はピロリ菌が居るかどうかと、胃の粘膜の状態を血液検査で調べるものです。ピロリ菌を除菌したことのある方は正しい検査結果が出ませんので、除菌をしたことがある方は対象外ということです。	
3	総務課長	■現在、転入・転居者に対して支部加入促進をし、9名加入してもらえたが、15支部が欠番になっているので、そこの方々に加入促進をしたい。住所や名前などを教えてもらうことはできないですか。	■転入された方には町民室で各自治公民館が作られたチラシをもとに活動内容等の説明をしながら支部加入の案内をしています。館長さんたちにご住所等をお知らせするというのは、転入者の個人情報保護という関係がありますので、本人の同意が得られた場合のみお知らせさせていただいています。	
4	教育長	■三股町の学力について現在の状況と対策を伺いたい。	■昨年度まで県から地域一体の学力向上対策の取り組みの指定を受けて、町内小中学校7校が一緒になった研究をし、みまたん学習モデルを作りました。それを三年間実施し、引き続き今年度も継続しながら体制を整えている所です。	
5	福祉課長	■昨年この場で、児童館・児童クラブの話(児童館が閉鎖し児童クラブに登録できない子どもがいて困っているという課題)が出ましたが、その後どうなっていますか。	■山王原児童クラブを利用されていた方々は本年度、他の児童クラブに入られていて、今の所児童クラブに入れないという問題は解消しております。	
6	福祉課長	■山王原の元児童館が児童館としての機能を持っているのか。 ■結局、子どもが来るのは無理という事ですね。総合福祉センターという、「総合」と名のついている場所なので、高齢者も子どもも両方使えるような施設になるのが一番良いモデルケースかと思えます。なんとか折衷案を考えていただきたい。	■基本的には、児童館ではないという位置づけにしています。あそこに子ども達が行っていいのかという話しをしたところ、来る分には受けていこうと検討させていただきました。公民館の方とも話をさせていただきましたが、サロン活動で使用している道具等が入っている状況なので、子ども達が遊びまわるには危ないのではないかとということです。 ■検討いたします。	平成29年10月より、山王原地域福祉センターに管理人を置き、子どもも利用できるようにしました。
7	総務課長	■交付金が年2回ありますが、山王原地区は5月1日現在492世帯で一番少ないところで6世帯くらい。交付金の均等割というのが20万円と、少ない所と同じです。	■見直し等については、公民館連協にも話したことがあります。町ではこちらが一方的に変えられないので、できれば公民館連協の中で検討いただきたい。	